

## 第 I 回感想

- ①わかりやすく講義されてとても勉強になりました。「人権」と「権利」のちがいについて説明をうけましたが難しい問題だとつくづく感じました。また参加したいと思います。
- ②引きこまれていく話でした。あらためて子どもとは何なのかを考えさせられました。学校で生徒に向き合う時にじっくり考えたい。次回が楽しみです。駐車場がもう少しどうかなければと思います。
- ③「人権」と「権利」のとらえや子どものとらえなど改めて認識することができました。次回からの権利条約の学習も楽しみになりました。
- ④改めて「人権」そして「権利」について考えさせられました。また、「子ども」という存在を改めて見直す機会になりました。今の子どもの姿をしっかりみつめられるようこれからも「見方」の研修をしていきたいと思っています。次は市内の保育士さん、教員を誘って来たいです。ありがとうございました。
- ⑤18世紀の「子ども」の発見、機会均等法、満年齢の数え方興味深く聞かせてもらいました。ありがとうございました。
- ⑥人権と権利のちがいについてとてもわかりやすかった。特に女性の人権と権利を例にしての説明はとてもわかりやすかった。子ども期をとりもどす手だてをどのようにしたらよいのか聞きたい。
- ⑦大学の講義を思い出しました。こんなに楽しかったら、もっと大学で勉強していただろうなと思いました。子どもの権利と人権のところ、教師の存在、おとなの存在が大きいなと感じました。質問しようと思ったのですが、18、19才の働いている子は税金を納めていますよね。そのことを考えると、今の法律は変えるべきだと思うのですがどうでしょう。また次回を楽しみにしています。
- ⑧人権と権利の違いがはっきりして、ストンとききました。それと「子どもの発見」ということが、新しい発見と驚きでした。「子ども」という概念ができたのがルソーであること、18世紀までは「子ども」は「小さな大人」、「小さな労働者」ということがよくわかりました。
- ⑨子どもの権利条約を学ぶ入門としてわかりやすい講義ではあった反面、とても難しく感じられました。大人によって子どもがどんどん変わっている状況をどうとらえたらいいのでしょうか。
- ⑩保育所の子どもたちを見てホント子どもらしさがなくなっていると私も感じていたのでその理由がよくわかりました。ムラの子ほどマニキュアしたり髪をそめたり流行の服を着たりと気になっていました。先生の話聞いて子どもは未熟な存在であり、発達可能態だからこそだめだと言うことを今後クラス懇談でしっかり話したいと思いました。
- ⑪はじめはむずかしく「こりゃ何じゃ」という感じでしたが、話が進むにつれよく理解できてきました。女性問題での固有性と普遍性や目の前にしている子どもたちの状況、親たちの対応をみたときに、子どもの守り育てることがスムーズにいかないことが多くみられます。今日の講義で子どもの見方がスッキリしました。そしてそのことを保護者に伝え理解させていき教育で子どもを育てていけるように、次回もまた参加し学習を深めたいと思います。
- ⑫子どもの人権と子どもの権利が自分の中でごちゃまぜになり日常の中で人権と権利にはさまれてふりまわされているようなところがありました。今日の話で少し整理できそうな気がします。子どもたちをみる時、社会事象をみる時、いろいろな見方、考え方ができる自分でありたいと思います。
- ⑬人権と権利のとり方や、子どもに対しての権利を守るなど理解できていないこと、知らなかったことなどあり、考えさせられながら聞きました。今後も参加して自分自身勉強してこれからの保育の方にもいかしていけるようにしたいと思います。未熟な子どもに対して、どう大人が接していかなければならないか、どうすべきかをもっと知っていきたいと思いました。
- ⑭権利条約について、くわしく学習する機会がこれまで(必要だったにもかかわらず)なかったと思う。

もう一度とらえ直していきたいと思う。

⑮人権と権利のちがいが、大変わかりやすく、頭の中がスッキリしました。子どもは未熟であるからこそ、教育されなければならない、という子どもの固有性に関するお話も大変わかりやすかったです。(余談ですが、女性の固有性に関しては、権利を保障していただくより、家事・育児の固有性をなくす啓発活動などに力を入れていただきたいと個人的には思っています。)

⑯人権、とくに女性の人権の裏に女性固有の権利有りの指摘には目からうろこの思いでした。先生の話で「世間の目」というのはこの私だったかもしれないと思った。こうだからと日本社会、男社会にどっぷりつかり、いい思いもしたし、損した思いもしたと思いきや知らされました。真剣に考えれば、女性だけの良い権利があるのではと…今後の学習が楽しみになりました。子どもの権利も同様に考えます。

⑰人権と権利の違いがわかりました(最初もっとむつかしいと思ってました)。これからの講義も楽しみです。大学で学んでいる子どもたちがうらやましいです。もう一度若くなりたい。

⑱先生の声がとてもめりはりもあり、内容もとてもわかりやすくして下さいました。ありがとうございました。

⑲日頃ここまできちんと考えていくことがない人権と権利というものではなかったかと思えます。時としてどちらかに偏ってしまいがちな考え方を少し整理できるのではないかと思えます。頭の中がスッキリとした様にも思えます。次回を楽しみにしています。

⑳男女のあたりまえと思われた人権と権利もよく考えてみるとおかしいところもたくさんあると気がつきました。子どもの権利条約についても次回から更に進んでくると思えます。これからもよろしくお願ひします。

①とてもおもしろかったです。人権と権利のちがいについてはじめて意識しました。また、社会の問題を学校で‘おとしまえ’をつけようとしているという話に大いに賛成の気持ちでした。おとしまえという言葉がぴったりです。また、子ども像のとらえ方が自分もまた単純でゆらいでいることを自覚しました。‘自分の実践をといなおす’ということと人権と権利の問題で毛利さんの言うことと重なる面もあるなと思ひました。

②新しい視点でとても興味深いお話でした。人権と権利をきちんと分けて見ることが大切なのがよく分かりました。「子どもでいられる時間」を保障しながら子どもの成長に関わるためには、今の学校現場でどんなことができるかなあと考えさせられました。

③「はじめに」の部分できちんと教育問題を整理をしていただき、スタートがとてもスッキリしたものになりました。「子どもの発見」というのは(ルソーのことは)学生の頃学んだような気がします、そういえば日本では結局「子どもの発見」はなかったのですかねーと思っているところです。最近のオトナをみていると自分の子どもを本当に「たいせつな子ども」と思っているのだろうかと思ひ込まれてしまう事例が多いです。

④「子どもの発見」という言葉の深さ・重さを再認識。今、子どもが子どもという時代を失いつつあるというこの時間、保育所の子どもたちのことを考えてみる時、まさに子どもが子どもとして生きることの権利が奪われていると実感します。なぜなら子どもの親たち自身が子どもとして活かされてきたのか、そして今オトナとして生きているのか、人が人として生きる力が育っているのか、育てられてきたのか、ひとつひとつの成長の節目を経過してきたのか、考えさせられる学習でありました。もう一度私自身が子ども像を見つめ直したいものです。

⑤子どもの権利条約を読んでいくにあたって、子どもも人権の主体であることを確認した上で子どもだからこそ保障すべき権利があるということを頭に入れて読んでいくことが大切だということがまず学

習になりました。いただいた資料を持ち帰り、じっくり読んでみたいと思います。権利条約について継続して3回学習できるのはより深く学習できるのでいいと思います。内容について根っこの部分をしっかり学習し実践に役立てることができたらと考えます。ありがとうございました。

⑥「子どもの権利条約」を1つずつみていったことはありましたが、その前の部分でもある「人権」と「権利」の違いについては考えてみたこともなかったので今日の先生のお話を聞いてよかったです。

⑦今まで権利と人権を分けて考えたこともなかった。今まで考えたことがなかったことを問題として提起されて考える機会は重要だと感じた。世間一般の人が教育へのとらえ方が正しくできていないと感じることがあるが、私たちが「どれだけ子どもを『等身大』にとらえているのか」という問いはそれこそどうなのか考えさせられた。今日、これからの学習会を通しそのことについて少しでもふみこんで考えられればと感じた。今日はどうもありがとうございました。次回もぜひよろしく願います。

⑧女性の人権と女性の権利の固有性の差異、子どもの固有性、未熟で発達可能な存在ということについてわかりやすい身近な例でわかりやすいものだった。子どもでいられる時間が削り落とされ、というところが切実にとらえなければと思う。

⑨子どもをとらえ直すという意味で、今後も参加したいと思います。実際現場で考えさせられることがたくさんあります。保護者とのかかわり方を見直すことにもつながればと考えています。

⑩子どもの未熟さ可能性を改めて認識させていただきました。また、子どもへの育て方、働きかけ方は、もう一度今までを振り返って見直すべきことが多いと感じさせられました。ありがとうございました。

⑪あつという間の2時間でした。目の前の子どもから、学びなおしたいとあらためて思いました。

⑫非常に興味深い内容で、どんどん面白くなっていった。今まで分からなかった人権と権利の基本が分かったような気がする。次回も期待したい。

⑬発達段階をのがしてしまうと人間は人間になれない、人間は育てようによってはオオカミにだってなれる可能性を秘めている、という話を聞き、保育士としてのこどもの関わり方をもう一度見つめ直していかなければと感じました。

⑭子ども固有の権利をあらためて知ることができ、日々接している子どもたちが権利を守られていない子が多いのではないかと感じました。次回もぜひ参加し、私自身も子ども像の再認識をしていきたいと思いました。そして実践していきたいと思いました。講義は久しぶりですが、全く眠くなりませんでした。

⑮面白そうな学習であるとは思ったが、思ったよりは内容的にはむずかしかった。授業を受けているようだった。興味はあるのだが…も少しわかりやすくできないか。又主観が入らない方が聞きやすいが。

⑯「人権と権利を分けて考えよう」という大切さがわかりました。子どもの発見が18世紀だったことに驚きました。

⑰改めて学習させていただいた所と再認識したところととても勉強になりました。次回が楽しみです。人権と権利、身の回りから考えて行きたいと思います。

⑱人権と権利について自分の中で混同していたことがわかりました。ぼんやりとではありますが、少し違いがわかりました。

⑲久しぶりに学生に戻った気分です。人権と権利なんとなく分かっているつもりでしたが、改めて考えてみると自分が思っていたこととちがっていたのですごく勉強になりました。私は共働きですが、奥さんがけっこうがんばり屋なので、私自身も家事をかんばっています。今日の話をもっと家庭の話題にしてみたいと思います。

⑳人権と権利というものの違いについてとてもわかりやすく説明していただいて感謝しております。今

までのもやもやとしていた部分、例えば男女雇用機会均等法が成立しているにもかかわらずいまだに男女格差が残っていることや、そもそも子どもとはどういう存在だったのか（いつから定義されたのか）などをわかりやすく説明していただきました。またルソーやエレン・ケイなどの教育学的な裏付けを示しながら話していただき、スーッと頭に入りました。ありがとうございました。

・子どもの人権…子どもを差別せず、子どもの教育的ニーズにあった教育を行う

子どもの権利…基礎・基本の学力などの保障など（結果も平等、いわゆる評価規準Bを全員が満たす形で）これだけではないでしょうが、ことさらに人権、人権と言わず、冷静に対局を見ながら、人権、同和教育を推進していくべきだと思いました。ありがとうございました。

①「人権」と「権利」のちがいについての話を聞くことですごく学ぶ部分が沢山ありました。教育だけに関わるだけでなく男女共同参画という面から見ても今までの私たちの捉え方の違いに気づかされました。今日の話を書く中でやはり一番大事なのは乳幼児時の子育ての大切さについて私なりに話を聞きながら置き換えて考えてみました。やはり一人ひとりの家庭環境の中で育てている子どもたちの違い、それを私たちがどのように育ててあげていくかという問題点をいわれたような気がしてきました。生育歴で子どもはどのようにでも育つというある意味では怖い部分も感じ取ることができました。参加してとても良かったと思いました。おつかれさまでした。

②子ども一人ひとりに可能性は十分に秘められていることを改めて感じ、私たち保育士の子どもたちに対する関わり方や声掛けなどがどれだけ大切になるか、また、子どもたちの成長にどれだけ影響を与えるのかということを感じ、重要性を再確認させられました。子どもたちに秘められている可能性を無駄にしないように私たちは考えていかなければいけないと思いました。大人、子ども、関係なくみんな平等なのだから大人の勝手に子どもたちの芽をつむことのないように心がけていきたいと思いました。

③とってとって勉強になりました。職場の仲間たちにも広げていきたいと思います。2回目は出席できず非常に残念です。3回目は必ず出席します。

## 第Ⅱ回感想

①子どもの権利条約を学習しましたが、一言で言うと難しかったです。子どもの立場、親の立場、政府の立場、学校の立場等その時々によって言い分や考え方があってどれがベストなのか考えさせられました。しかし、大人は子どものために考えていかなければならないと思いました。

②子どもの権利条約を人権、アイデンティティの視点から分かりやすく解説していただきとても学習になりました。

③大変わかりやすい解説でした。具体的な例をあげてあるので自分のことに重ねて理解することができました。

④権利条約を読んでいって子どもの権利や親の責任、権利、義務を再確認できました。ありがとうございました。

⑤子どもの権利条約をこんなにきちんと人権論、権利論として学習したことはなく、とても勉強になりました。アイデンティティにかかわるところで婚姻による改正など、自分自身考えていたつもりでしたが、こんなふうに整理して語られ、また考え直させられました。わが子への見方もちょっと変わりそうです。ありがとうございました。

⑥Ⅲを楽しみに参加します。じっくりと子どもの権利条約を勉強させてもらっていることで、‘子ども’の見方が問われています。私自身が子どもに対してまだわからない完全なものではないということでも権利を沢山踏みにじっていたと思いながら聞かせていただいています。被差別の側にいる人たちも同じ状

況ではないでしょうか。自分の差別性が問われています。(知ることは学ぶこと自分の生き方にも影響するのだと思っています。)

⑦ただ文面としてでの「子どもの権利条約」の捉えだったが、社会問題、教育問題、教育現場の課題としての関連の説明を聞き、納得し、理解することができた。

⑧‘条約’わかっているつもりでもわかってないものがあり、具体的に話していただき気づいたこと、一致したことがずいぶんあり良かった。これからも権利というものを常に頭の中におき、子どもたちのことを考えていきたいと思う。

⑨詳しい説明でした。1回目よりも2回目は受講に慣れてきたのか、理解することができた。ただ説明があちこちへ移り、わかりづらい時もあった。2回を通して、子どもの権利条約がより身近になった。3回目が楽しみです。

⑩子どもの権利条約の話はとてもわかりやすかった。特に現場に置いても結びつくことは、私自身考えさせられました。「子どもに義務はない。義務を果たすのはまわりの大人(親)だ」ということを学べてよかった。次回も楽しみです。

⑪時間がなくてすみません。権利と人権のちがいが今日よく分かりました。毎回とてもおもしろいです。授業につながりたいと思います。

⑫「子どもの権利条約」詳しく読む機会が今までなく、このような機会を与えて頂いてとても勉強になりました。内容もよくわかりやすく、このような権利を全ての人を読んで知ってもらうだけでも、子どもにとって、社会がよりよいものになるのではないかと思いました。今の子どもたちの現状に即して具体的な例がおもしろおかしきかせて頂きました。「はぁー」と思わせるような例でよかったです。

⑬元兼先生の講話を聞くのは一年ぶりです。昨年社会科の夏季研修会で、テーマは今回とは全然違うのですが、非常に難しいことをわかりやすく話して下さった記憶があり、好感が持てる先生のお一人です。条約の一つ一つを例を出されながら話して下さるので、この条約が身近になった気がします。ありがとうございました。

⑭今日の2回目の学習会も大変分かりやすいものでした。「子どもの権利条約」私も誤解していたことがたくさんありました。「子どもの権利」とは何か、それこそ今日先生が言われていた「義務を果たしてから権利を主張すべき」と思ってました。今にしては大変申し訳ないな、と反省するばかりです。よりよい子ども期を過ごさせるために、大人のできることは何か、すべきことは何か…もっと日々考えて教育実践を行っていかねばならないと思いました。子どもだから…とつい軽く見たり、ごまかしたり、言いくるめようとしていたりしていなかったか、もう一度自分に問い直したいと思いました。いつもユーモアのある話、楽しくきかせていただいています。

⑮どんな家庭であっても子どもたちにとって一番良い選択をしてあげ、一人ひとり平等に生活できるよう保障する必要があることなど、改めて子どもたちの権利を保障し、守ってあげるのは、周りの大人がきちんとしていかなければならないことを考えさせられました。1つ1つのことについて知ることができ、また聞かせていきたいと思いました。

⑯権利条約を学ぶことは、自分たちの子どもの見方を振り返るためにとても意味のあることだと感じました。

⑰ルソーの「社会契約説」等の学説にとっても興味を持ちました。できれば全ての学習会に参加して学んだことを職場で研修等を組んで話していきたいです。「子どもの権利条約」の日本政府訳にみえる偏った訳し方を今回はっきりと見つけられたと思っています。今回の先生のお話の中で、印象に残った言葉は、「子どもはよく『うざい』』とか言うけど、それだけ思いを具体化する言葉をもっていない。だから

我々大人は丁寧に子どもの思いをつかんであげる必要がある。」と言われたことでした。

⑱前は参加していませんので始めて話を聞きました。具体的に条文を読んでいくことができ、分かりやすかったです。子どもの権利条約が批准された頃は、テレビや新聞でも盛んに取り上げられ、学校の授業でもやっていました。しかし、気がつけば近頃そうした授業もあまりみなくなったし、テレビ等の話題も少なくなって、忘れかけていたのを久々に思い出しました（ランキンタクシーさんの訳など）。学校の現場では、このことについてほとんど管理職からきくこともありませんし、まだまだ取り組みが弱いと感じます。公的にはやはり政府訳というのが採用されているのでしょうか。

⑲大正時代からの子どもの6つの権利から現代における子どもの権利条約、これほどまでに詳しく学習したことはありませんでした。とても勉強になりました。今後もどうぞ宜しくお願いいたします。

⑳初めての参加でしたが、「子どもの権利条約」のことがよく分かりました。特に子どもたちが幸せに生活するために守らなければいけないことがたくさんある…という提起に賛同しました。また親としての頭髪（子どもの）の件は断固として…と少し話されましたが、がんばってほしいと思います。親としての主張、権利もあるからです。

①分かりやすく、楽しい説明でした。どれもなるほどとうなずける説明、例の取り上げ方だったと思います。次回を期待しています。

②新鮮な気持ちでお話を聞いています。子どもには一斉義務を課してないということで驚きました。あらためて全文に目を通したいと思いました。

③改めて一つ一つの条文を読み、それについて内容を詳しくおききすることができとても学習になっています。条文を読むだけでは気づくことができている見方、考え方など大変興味深いです。子どもたちに「子どもの権利条約」を扱い学習させることが本校でも行われていますが、学習したことを生かしたものに次回できればと考えます。ありがとうございました。

④前半は少し難しい内容であり、なかなか理解するのに苦しみましたが、後半になると少しずつ実例などで話をされたので分かりやすくなりました。子どもにとって何が必要なのか（関われる時）ということなどがこの中で分かってきました。やはり心を大切につつみこむことなのです。すべての子どもに愛情と受けとめてあげることが大事なものであることを知りました。これがまさに学力保障につながるのではないのでしょうか。保育者はひとりひとりの子どもたちに関わることができますが、学校側はどうなのでしょう、という疑問に感じているところです。もう少し子どもの気持ちに寄り添ってあげてほしいと願っています。

⑤これほど子どもが大切にされる条約が10年以上も前にできているのに、なぜ虐待などは減らないのだろう？やはりこれはこの条約が広く認知されていないからだと思う。‘子どもの権利を守るのは親’このことを親になる前に学ぶべきだと思いました。私も含めて…。

たくさんのご意見、ご感想を賜り、誠にありがとうございました。暖かいご意見は励みになりますし、忌憚のない厳しいご批判も今後の改善につながりますのでたいへん参考になります。ご示唆頂いた点を踏まえ、子どもの権利条約についての研究と実践を真摯にすすめたいと思います。 元兼 正浩